

第35回日本小児科医会フォーラム報告

2024.6月 大宮（※は平井のコメントです）

病原体の種類は4つ：（小さい順に）ウイルス、ばい菌（細菌）、カビ、虫（寄生虫）。150年前までは全世界で、平均余命は20年で、5歳までに40%のこどもが亡くなっていた。平均余命が延びた理由は、上下水道の整備、ワクチン、抗菌薬。

新型コロナ：（今だから言えることですが、、、）小児では重症例が少なかった。



武漢の実験施設からの流出説は、否定された。

マスク着用の自己防衛の程度は高くない。他人にうつすのを防ぐ効果は明らかにある。

飲酒・大声・気のゆるみは関係なし。3密避けるのは〇（※三つの密を覚えていますか？平井は忘れまし）

アクリル板は意味なし。大声を出すようになるのでかえって悪化するともいわれていたが、大声もあまり関係なし。（※ウイルスがついて不潔にはなりません）

飲食店閉店も意味なかった。

入国の水際対策も殆ど意味なかった。特に国内>国外の時（当たり前ですね）。初期に時間稼ぎで、対応の時間を少し稼げたという点では、わずかに意味あり。

県境を越える移動を控えましょう。全く意味なし。（※本当にバカなことを言っていたと思いますが、当時は仕方なかったと思います。）

3カ月の学校中止：感染地域での初期数日なら感染のスピードを抑える効果はあったかもしれないが、それ以外は意味なし。感染殆どゼロの岩手県や離島まで学校中止は最悪であった。（※誰が言い出したのかしら）

アベノマスク：※ここまでくると笑っちゃいますね。

自宅療養者：経口ステロイド（デキサメタゾンなど）を処方して、増悪時には飲むようにしたら、と専門の医師は提言したが、厚労省は混乱するからやめてくれと拒否した。官僚は一度決めたらやめられない。コレが実現していたら、死亡者はもっと少なかった。

接触感染はあまりないので、お札を触っても平気。N大臣は結果として嘘をついた。（※当時は仕方がないと思います。）

コロナのワクチン：hybrid 免疫＝自然感染+ワクチンが、一番免疫がつく。

交互接種（例：アストラゼネカ→ファイザーなど）の方が抗体価が上がり、効果があった。モデルナは抗体量が多いので、さらに効果あり。（副反応も強かったですが）、交互接種をしていれば、おそらく東京五輪は観客いれて、できたであろう。同じメーカーを推奨したのは間違いであった。

コロナワクチンによる心筋炎：接種2日目で多い。経過良好（※コレはもっとアナウンスすべき）。

こどものコロナワクチン：効果はあるが、1～2カ月でなくなる。副反応は大人と同じ。

コロナワクチンを打った人は、かかっても人にうつしにくい。

以上はあくまで、今だから言える（後出しジャンケン）ことなので、当時の政策を非難するものではありません。

結論：日本は手洗い、マスク、3密を避ける、を国民が真面目に行ったので、諸外国と比べ、うまくいった。

ASUKA モデル：小6の明日香さんが駅伝の練習中に倒れ、そのまま放置され亡くなった。多くの生徒、教職員が見守る中で、心臓マッサージはされず、AEDもあるのに使われなかった。人が倒れていたら、とにかく、胸骨圧迫（心臓マッサージ）、人を呼ぶ、AEDを使うこと、その際、脈や呼吸を確認しないこと（一般の方）！！脈や呼吸があると思うと治療が遅れます。亡くなる直前には深い呼吸が出ることがあります。それで呼吸は大丈夫と見誤ります。（※学校向けの小冊子が作られましたが、字が多く、読む気がしません。もっと簡単に、＜胸骨圧迫、人を呼ぶ、AEDを使う＞だけ書いたポスター等がいいと思います。私の同級生もジョギング中に死にました。悲しいです。）

平井こどもクリニック

